

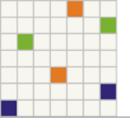


## 2018年12月期 第2四半期決算説明会

2018年8月22日

株式会社C&Gシステムズ

東証二部:6633



## 目次



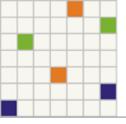
2. 2018年12月期第2四半期決算概要 …12

3. 中長期事業方針の進捗状況 …19

4. 2018年12月期通期業績見通し …25

5. 株主還元について …31





## 会社概要



### ■会社概要

商号	株式会社C&Gシステムズ(6633)
事業内容	金型向けCAD/CAMシステムの 開発・販売・サポート
所在地	(東京本社) 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社) 福岡県北九州市 八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近通期連結 業績 (2017年度)	売上高: 40億83百万円 営業利益: 3億28百万円
事業所	国内6拠点 (東京/北九州/大宮(9月~)/名古屋/大阪/松本) 海外1拠点(インドネシア) 海外事業子会社3社 (タイ/カナダ/米国 [金型製造]) 海外総代理店(韓国/中国/台湾)
連結社員数	244名

### ■国内外ネットワーク

### 【東アジア】 (各国代理店)

韓国:*IGPNET*社 *GCE*社

中国: Shanghai C.J System

Technology社 台湾: Createwell社

#### 国内

東京支店 松本営業所 大宮支店(9月~) 名古屋支店 大阪支店 九州支店 海外営業本部

#### 【北米】

カナダ: CGS CANADA (子会社)

【金型製造事業】

アメリカ: Tritech International, LLC

#### 【アセアン】

タイ: CGS ASIA(子会社) インドネシア テクニカルセンター



CGS ASIA

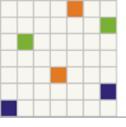
インドネシアテクニカルセンター





東京本社

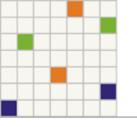
北九州本社







	旧コンピュータエンジニアリング(CE)社	旧グラフィックプロダクツ(GP)社	
1978年	CE社の前身である株式会社西部周防 設立(1983年「コンピュータエンジニアリ ング株式会社」に商号変更)		
1981年		GP社設立	
1997年		GP社株式店頭(現·東証JASDAQ市場)上場	
2007年	CE社およびGP社による共同持株会社 アルファホールディングス株式会社(αHD:当社)設立		
2010年	CE社およびGP社をαHDに吸収合併、 同時に新商号を「株式会社C&Gシステムズ」として事業会社に移行		





### 社是、経営理念および成長戦略テーマ

□社是

「生産性の限界に挑戦する」

□経営理念

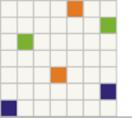
「技術立国日本を代表する CAD/CAM ソリューションメーカーとして、 世界のモノづくりに貢献する。」

■ 成長戦略テーマ「Global Niche Top」

「金型用CAD/CAM」という<u>ニッチな市場</u>において、 <u>グローバルにトップ企業</u>になることを目指す



<u>回復を見せる「国内市場」におけるトップ企業</u> ॥ 金型向けCAD/CAM市場におけるトップ企業





## 主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ



■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

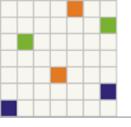
#### 国内: 6,000事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 立松モールド デンソー ヤマハ発動機 三光合成 三菱重工 マツダ 深江製作所 三井ハイテック 高城精機 エスバンス パナソニック オムロン シマノ がまかつ CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気 ホンダエンジニアリング アルプス電気 ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

#### 海外:1,000事業所

LG電子 サムソン電子 現代自動車 DOOSAN機械 FOXCONN teleflex Medical 友達光電 AMTEK

・・・その他多数

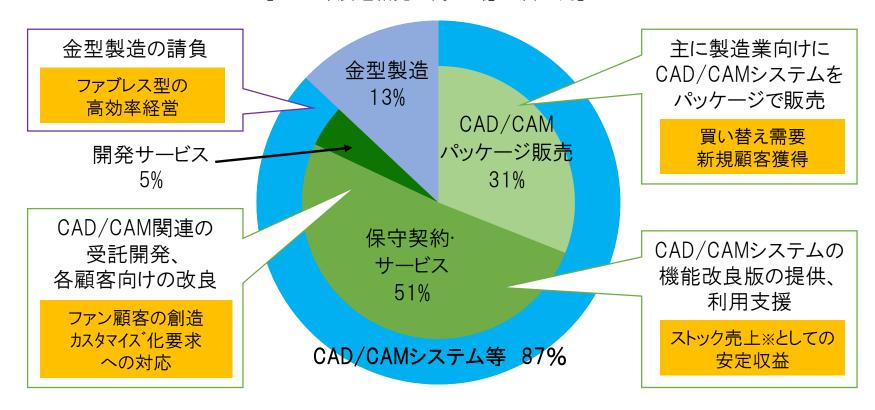


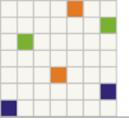




### 主力事業:金型用CAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

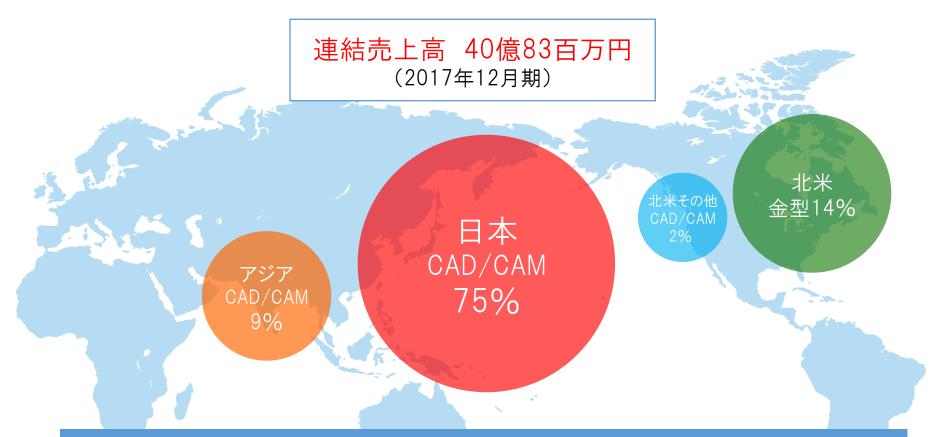
【2017年度連結売上高:40億83百万円】



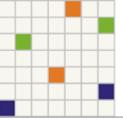




## 地域別(性向地別)売上高

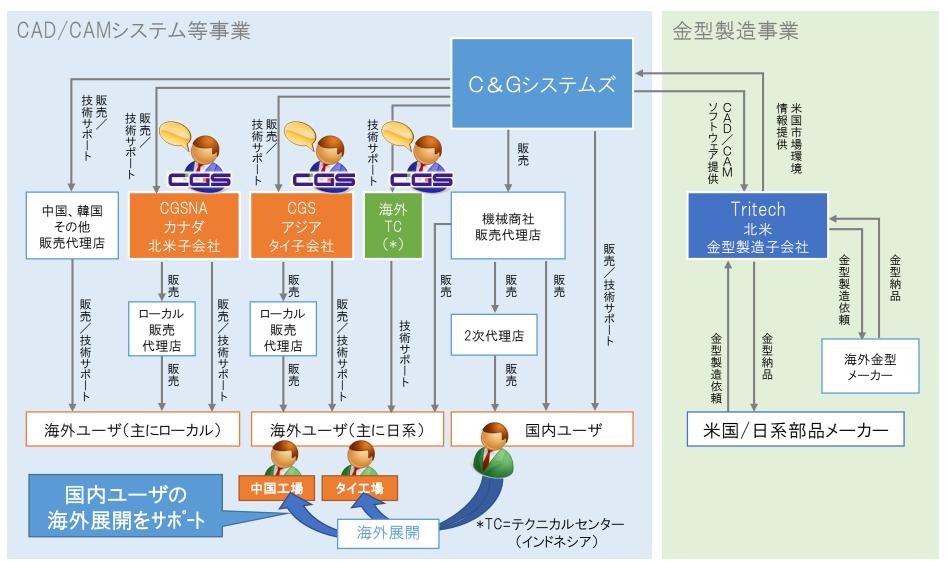


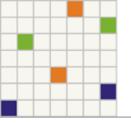
- 海外販売割合(仕向地別)は25%
- CAD/CAMシステム販売については海外進出した日系企業への直接販売が中心 ⇒今後は海外ローカル企業への間接販売を強化







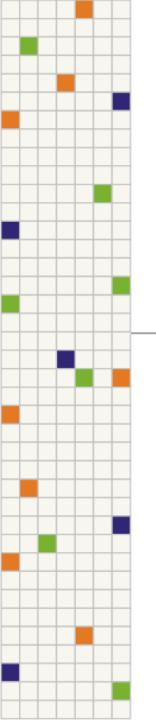






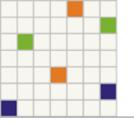
## 連結業績の推移







## 2. 2018年12月期第2四半期 決算概要





### 2018年度第2四半期 決算ハイライト

### ■ 前年同四半期比で減収減益

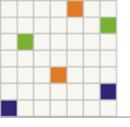
- 売上高 18億89百万円(前年同四半期比 9.4%減)
- 営業利益 62百万円(前年同四半期比 73.1%減)

### ■ CAD/CAMシステム等事業

- 国内
  - ✓ 工作機械納品時期の長期化/政府補助金の採択時期が当社製品販売に影響
  - ✓ 保守売上では引き続き高い保守契約率を維持し、堅調に推移
- 海外
  - ✓ ASEAN地域でのローカル展開、韓国でのオプション製品の販売強化等での売上は堅調に 推移した一方、大口案件の下期へのずれ込みにより海外全体では前年同四半期並み

### ■ 金型製造事業

2017年下期以降、新車開発の動向変化により主要顧客である日系部品メーカーからの開発案件が減少、またそれに伴い原価率も悪化し、大幅な減収減益。





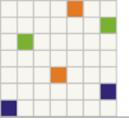


(単位:百万円)

	2018年	構成比	2018年	計画比	
	上期実績	件以ル	上期計画	増減額	増減率
売上高	1,889	100.0%	2,088	△198	△9.5%
営業利益	62	3.3%	201	△139	△68.8%
経常利益	77	4.1%	227	△149	△65.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26	1.4%	97	△70	△72.7%

		2017年 期末実績	2017年 第2四半期実績	2018年 期末想定
	ドル	113.00円	110.54円	110.00円
為替 レート	バーツ	3.45円	3.33円	3.00円
·	カナダドル	89.95円	83.39円	85.00円

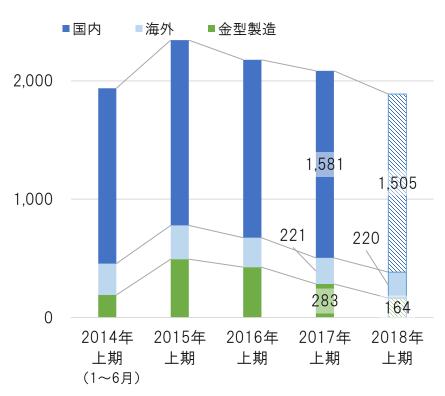
2017年	前年同期比			
上期実績	増減額	増減率		
2,087	△197	△9.4%		
233	△170	△73.1%		
257	△179	△69.8%		
143	△117	△81.5%		



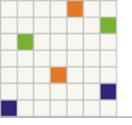


### 事業セグメント別売上高の推移(仕向地別)

#### (百万円)

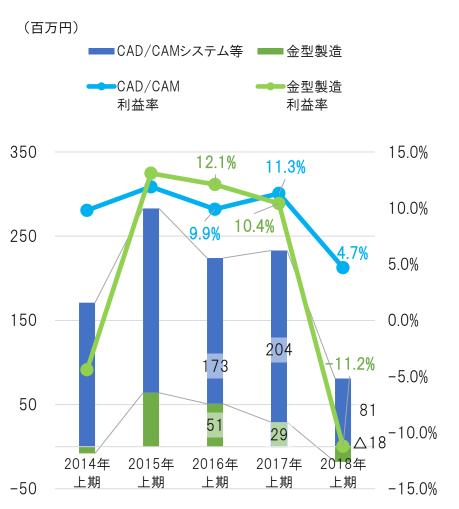


	売上高	2017年	2018年	)18年   構成比 -		司期比
(	(百万円)	上期	上期	将从几	増減額	増減率
C	AD/CAM	1,803	1,725	91.3%	△78	△4.3%
	国内	1,581	1,505	79.6	△76	△4.8%
	海外	221	220	11.7	△1	△0.8%
金	型製造	283	164	8.7%	△118	△41.9%
슫	計	2,087	1,889	100%	△197	△9.4%

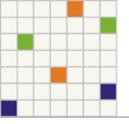




## 事業セグメント別利益の推移



	51.0	2017年	2018年	前年同期比	
	科目	上期 【実績】	上期 【実績】	増減額	増減率
CAE	)/CAM				
	売上高	1,803	1,725	△78	△4.3%
	営業利益	204	81	△122	△60.2%
	営業利益率	11.3%	4.7%		
金雪	型製造				
	売上高	283	164	△118	△41.9%
	営業利益	29	△18	△47	_
	営業利益率	10.4%	_		
合計	+				
	売上高	2,087	1,889	△197	△9.4%
	営業利益	233	62	△170	△73.1%
	営業利益率	11.2%	3.3%		



## 財務状況



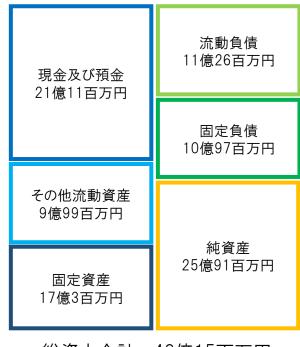
#### ■ 自己資本比率53.4%

#### 【2017年12月期 期末】



総資本合計 48億14百万円 自己資本比率 55.9%

#### 【2018年12月期 第2四半期】



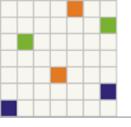
総資本合計 48億15百万円 自己資本比率 53.4%

主な要因

資産項目:受取手形及び売掛金+47百万円、たな卸資産+62百万円、有形固定資産+29百万円

現金及び預金△1億29百万円

負債項目:前受金+1億46百万円





## キャッシュ・フロー計算書

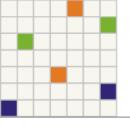
(単位:百万円)

	2017年 第2四半期	2018年 第2四半期	コメント
営業活動によるキャッシュ・フロー	366	72	<ul> <li>税金等調整前当期純利益62: CAD/CAMシステム等事業の利益貢献</li> <li>その他の主な内訳: (増加)減価償却費37 (減少)売上債権の減額45 たな卸資産の減額62</li> </ul>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26	△60	・ (増加)定期預金の払戻による収入31 ・ (減少)定期預金の預入による支出45 有形固定資産の取得による支出37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130	△143	・ (減少)配当金の支払額143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	△8	
現金及び現金同等物の増減額	198	△140	
現金及び現金同等物の期首残高	1,828	2,136	
現金及び現金同等物の期末残高	2,026	1,995	

1
---

※フリーキャッシュフロー=営業活動CF+投資活動CF





## 中長期事業方針



### 基本戦略①

既存の基幹収益源 (国内CAD/CAMシステム事業) の維持・拡張

- 保守事業の拡充
- OEM事業の推進

### 基本戦略②

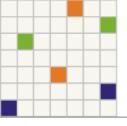
成長する 海外CAD/CAM市場の取り込み

- テクニカルフランチャイズ拡大
- APIサテライト構想強化

### 基本戦略③

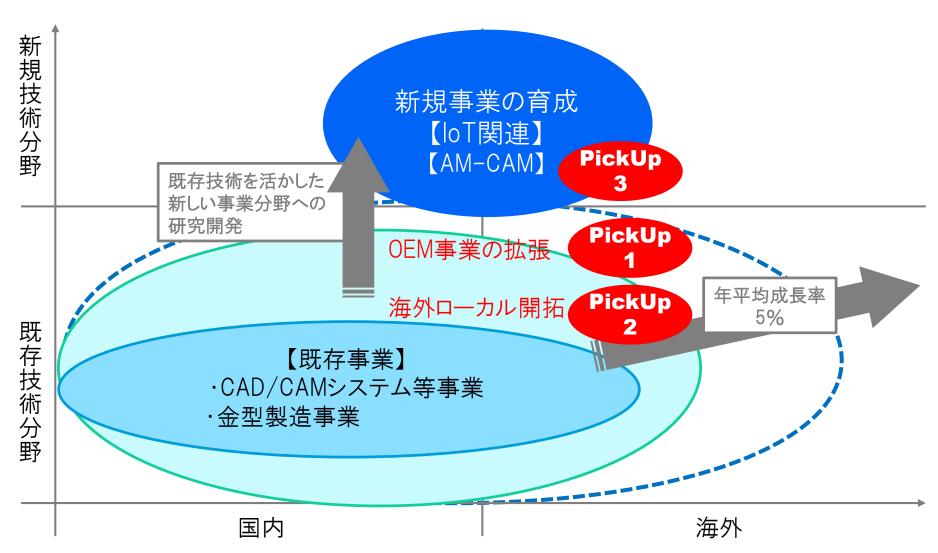
次世代収益源としての 新規事業の育成

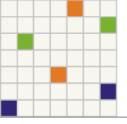
- AM(Additive Manufacturing:積層造形)
- loT関連





## 中長期の方向性





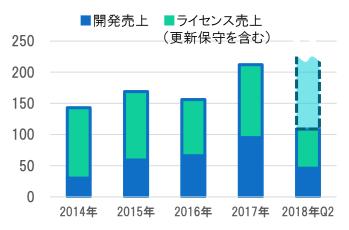
## OEM事業について







■ OEM製品 売上の推移<sub>(単位:百万円)</sub>



#### 試作市場向け

…試作加工機向け専用CAMの提供

#### 金属加工市場向け

…工作機械メーカー、工具メーカー等への専用CAMの提供

#### 同業他社向け

…CAD/CAMシステムメーカー等への専用CAMの提供

#### 研削盤市場向け

…研削盤メーカー等へ専用CAMの提供

- 前年度OEM売上の5割を達成。
- 金属加工市場向けOEM製品が開発売上・ ライセンス売上共に好調に推移



### 海外CAD/CAM事業の状況





#### <u>韓国</u>

- 自動化を推進するオプション 製品、部品加工への利用を 提案
- 技術代理店でのAPI活用も 引き続き推進

#### <u>中国</u>

- 一定の認知度がある日系 企業へのアプローチを継続
- 代理店への営業支援を強化

#### アセアン

- 新規率が増加(+14.6pt)
- タイでの設備投資が回復。
- 日本発プロジェクトがベトナム等で拡大中、現地でのサポート体制 づくりが急務

FC 韓国代理店 C&Gシステムズ カスタマイス゛ 開発環境 HQ FC 中国代理店 CGSアジア インドネシアTC

FC:専門代理店 HQ:ヘッドクォーター

#### 北米

日系代理店、 生産財メーカーとの 連携を強化

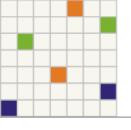
CGSカナダ

中国 13% 北米その他 18% 韓国 19% 海外地域別 売上高比率 (2017年度)

アセアン

50%

ASEANを中心に地域完結型の販売体制を早期に確立



### 新規事業開拓





#### 新規事業の一例:

# loTと連携した金型工程管理システム 「AIQ(アイク)」の拡充



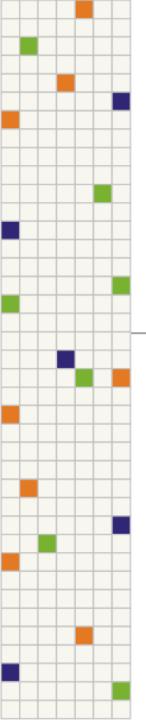
■ loTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型工程管理システム」

### さまざまな企業形態に応じた構成・カスタマイズが可能



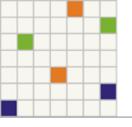


カスタマイズ開発を考慮した開発体制および 技術サポート体制の確立が急務





4. 2018年12月期通期業績見通し





## 通期の見通し

- 国内:緩やかに成長、輸出、設備投資も堅調に推移する見込み
- 海外:米国通商政策の動向が鍵

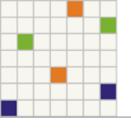
#### 市場環境の変化(+)

#### (国内)

- 製造業は海外経済の成長を背景に輸出は増加傾向、設備投資も堅調に推移する見込み
- CAD/CAM関連の需要についても工作機械の納品開始により徐々に回復する見込み (海外)
- •【米国】米国内は減税効果もあり景気は良好
- •【韓国】市場は回復傾向、労働時間短縮政策に伴い作業の自動化の推進が加速
- 【アセアン】タイ・ベトナムが日系・ローカルともに製造業が活発化

### 市場環境の変化(-)

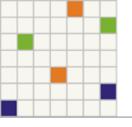
\* 米国の保護主義的通商政策による製造業への影響が懸念材料(海外)





## 通期連結業績予想の修正

(単位:百万円)	修正開示 (2018/8/10)	当初予想 (2018/2/9)	増減額	増減率
売上高	3,929	4,158	△229	△5.5%
営業利益	182	373	△190	△51.0%
経常利益	205	407	△201	△49.6%
純利益	100	172	△71	△41.6%
		前期実績 (2017年通期)	増減額	増減率
		4,083	△154	△3.8%
		328	△145	△44.4%
		373	△168	△45.0%
		503	△403	△80.0%

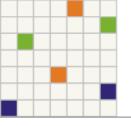




## 通期セグメント売上予想

【通期】	17/12期実績	18/12期予想 (8/10修正後)	構成比	増減額	増減率
CAD/CAM	3,528	3,479	88.6%	△48	△1.4%
金型製造	554	449	11.4%	△105	△19.0%
合計	4,083	3,929	100.0%	△154	△3.8%







## 2018年下期の取り組み

### ■ 国内CAD/CAMシステム事業

- 工作機械の納品時期到来に連動して製品販売を着実に展開
- 補助金採択結果待ちユーザへの確実なシステム導入
- 高い保守更新率の維持によるストック売上のさらなる向上

### ■ 海外CAD/CAMシステム事業

- 【アセアン】ローカル市場の育成および大口案件の獲得
- 【東アジア】中国:代理店販売支援体制の強化/韓国:自動化オプション製品の販売強化
- 【欧米】米国:日系代理店、生産財メーカーとの連携強化/欧州代理店の立ち上げ

### ■ OEM事業/新規事業

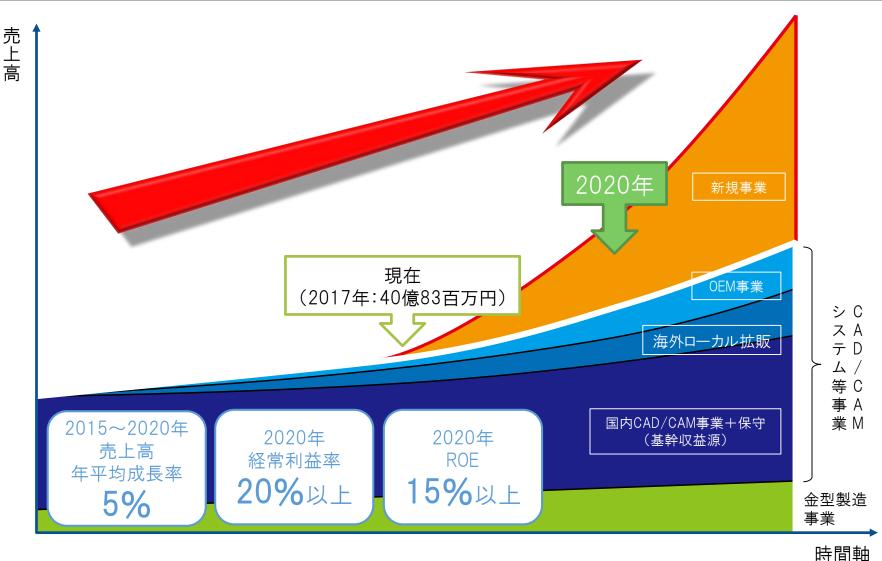
- 国内外のOEM先の開拓・開発を継続(切削CAM系/研削CAM系/放電CAM系)
- 5軸FDM商品化および金属積層向けAM-CAMの確立に向け研究開発を継続
- 金型工程管理システムの機能強化、販売強化、サポート体制づくり

### 上期からの施策を着実に実行

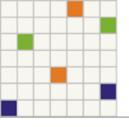




## 今後の成長イメージ(現有事業の拡張+新規事業)







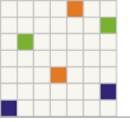


### 配当について

■ 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す



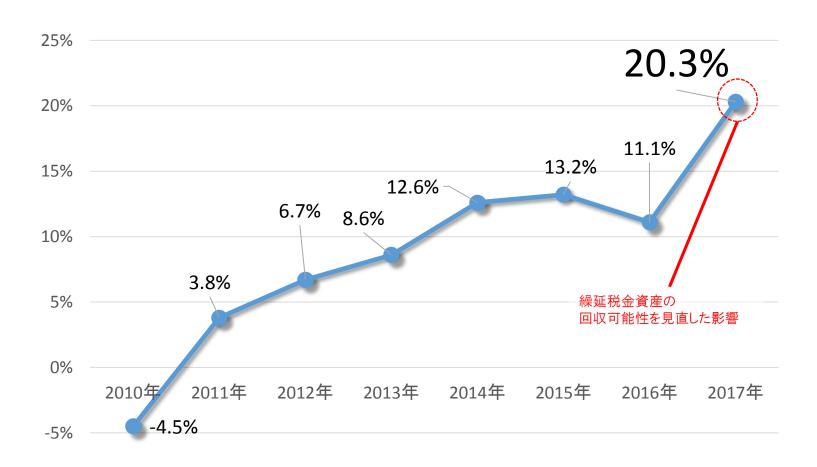


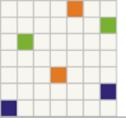




## (ご参考)ROEの推移

■ 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す







## (ご参考)専門用語集

用語	意味
AM-CAM	AM=「Additive Manufacturing(積層造形法)」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。
	製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。
API	API=「Application Programming Interface」。すでにある機能を呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムを作ることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。
NCデータ	NC=「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。
CAD/CAM システム	CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、 強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。
	CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC[Numerical Control]データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。
	CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。
研削盤	高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密 仕上げ加工を行う工作機械。
サーフェイス/ ソリッド	サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。
	対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。
ストック売上	保守契約によるCAD/CAMシステムの利用支援、機能改良版提供の対価として、恒常的な売上が月次または年次で計上される。
○軸	2軸半加工:2軸加工(平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等)に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。
	3軸加工:XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。
	5軸加工:XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット(そのままでは型が抜けない形状)を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。





本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものですが、 その正確性を保証するものではありません。 また業績予想、見通し等は、作成時点において 入手可能な情報に基づき作成したものであり、 実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)

株式会社C&Gシステムズ 管理部 IR担当

E-mail: cgs\_ir@cgsys.co.jp